

(別記)

令和7年度江田島市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市は、広島県南西の広島湾に位置し、気象は年平均気温17.9度と内海の影響を受け暖かく、年間降水量は1,856.5ミリと温暖少雨の典型的な瀬戸内海気候である。地形は島嶼部特有の傾斜地が多く、一戸当たりの経営規模は零細である。

本市では、温暖な気候と大消費地に近い立地条件を生かし、平地ではキクを中心とした花き類のほか、きゅうりやトマトなどの野菜、傾斜地では、みかんやネーブルを中心とした柑橘類の栽培が行われている。

一方、農業従事者農家の高齢化や、農家戸数の減少等により耕作放棄地の拡大が進んでおり、耕地面積を維持することが課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

水稲作付面積の維持に努めるとともに、不作付地にあっては解消に向けて、積極的に高収益作物への導入を進めその解消に努める。

高収益作物の導入に当たっては、重点品目の設定・産地化を図るとともに、6次産業化及び高付加価値化の取組を促進し、経営の安定を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田の有効利用に向けた産地としての取組方針として、優良な農地（水田）については、農地中間管理機構を通じた土地の貸し借りを推奨し、貸出しを希望する農地所有者と利用希望者のマッチングを行い、就農促進及び耕作放棄地の解消に努める。

4 作物ごとの取組方針等

現在の産地を維持継続し、持続可能な産地づくりを目指す。

(1) 主食用米

水稲作付面積は4ha程度（生産者は40人程度）で、ほとんどが自家消費又は地元消費である。不作付地の解消を図りながら主食用米の生産確保及び農地の維持に努める。

(2) 高収益作物

市場評価が高く収益性及び付加価値の高い作物として、花きではキク、野菜ではきゅうり・トマトの栽培が行われ定着している。

キクについては、作付面積が広いことから、担い手の経営安定を図りながら、将来にわたって生産維持が可能な産地づくりに取り組む。

きゅうり・トマトについては、作付面積や農家数は少ないものの、市場評価及び収益性が高い作物であることから作付面積の維持に努める。

また、地域の特産野菜である、かぼちゃやだいこん、さといも、ばれいしょについては、一定の需要があり、少量ながら質の高い生産が行われている。このため、高齢者等においてもできるだけ長く農業に携わることができ、小規模であっても水田を維持しつつ、需要を踏まえた少量多品目による生産面積の維持に努める。

(3) 地力増進作物

連作障害の回避、輪作等によるほ場の利用率の向上、地力の増進や災害時における地力の回復等を目的とした地力増進作物の活用を図る。

地力増進作物はすき込みを前提とし、具体的な作物は、次の表の作物とする。

科目	作物名
地力増進作物	トウモロコシ、ソルガム、大豆、イタリアンライグラス、レンゲ、クリムソクローバー

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	令和8年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	4.07	4.07	4.07
地力増進作物	0	0	0
高収益作物	5.21	5.21	5.21
・野菜	0.82	0.82	0.82
・花き・花木	4.17	4.17	4.17
・果樹	0.22	0.22	0.22
・その他の高収益作物	0	0	0
畑地化	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	キク、きゅうり、トマト、かぼちゃ、だいこん、さといも、ばれいしょ	地域振興作物 作付助成	作付面積	(令和6年度) 1.65ha	(令和8年度) 2.59ha
2	キク	担い手地域振興 作物作付助成	作付面積	(令和6年度) 2.77ha	(令和8年度) 2.77ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

別紙のとおり

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 広島県

協議会名: 江田島市農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物作付助成	1	17,200	キク、きゅうり、トマト、かぼちゃ、だいこん、さといも、ばれいしょ(基幹作物のみ対象)	出荷・販売を目的として2a以上、作付面積に応じて支援
2	担い手地域振興作物作付助成	1	34,400	キク(基幹作物のみ対象)	認定農業者で出荷・販売を目的として2a以上、作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。